

14時30分解禁

平成21年4月 全国百貨店売上高概況

平成21年5月18日

I. 概 況

1. 売上高総額	5,144億円余
2. 前年同月比	-11.3% (店舗数調整後/14か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	87社 274店 (平成21年3月対比-3店)
4. 総店舗面積	6,744,948㎡ (前年同月比:-1.1%)
5. 総従業員数	98,678人 (前年同月比:-4.2%)
6. 3か月移動平均値	9-11月 -6.1%、10-12月 -7.7%、11-1月 -8.4%、 12-2月 -9.8%、1-3月 -11.2%、2-4月 -12.0%

[参考] 平成20年4月の売上高増減率は-3.4% (店舗数調整後)

【4月売上の特徴】

14か月連続で前年同月比マイナスとなった。

4月は、在庫調整の進展や政府の景気対策などから株価が回復傾向を示すなど、マクロ経済の情勢に若干の変化が見え始めた一方、所得や雇用に対する不安感から消費マインドは依然低調で、主力の衣料品や高額品を中心に売上不振の厳しい状況は続いている。

しかし、好天に恵まれたことや催事効果で入店客数が比較的堅調に推移したほか、高級ブランドの一部で前年をクリアするケースが出てくるなど、急激な売上減少のテンポを緩和する要素もあって、4月の減少幅は3月(-13.1%)と比較し1.8ポイント改善した。

依然人気の高い地方物産展のほか大型の文化催事も好評であったこと、高温多照の天候からUV対策商品や夏物軽衣料に動きが見られたことなどプラス要素もあったが、デフレ懸念が広がる中、客単価・商品単価共に下落していることが大きく影響して、最終的には前年実績から二桁減少する結果となった。なお、定額給付金の効果については、都市立地の百貨店の場合5月以降が本番と見込まれており、4月段階での大きな動きは報告されていない。

【要 因】

(1) 天 候 : 気象庁発表「4月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 北日本から西日本にかけて月初は低温が続いたものの、その後は高温が続いた。また下旬には低温となるなど変動が大きかった。さらに月前半と月末には高気圧に覆われて晴れる日が多く、多照となった。

(2) 営業日数増減 29.9日 (前年同月比-0.1日)

(3) 土・日・祝日の合計 9日 (" ±0日)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した: 19店、②変化なし: 23店、③減少した: 99店、④不明: 49店

(5) 4月歳時記 (春物商戦、花まつり、昭和の日) の売上 (同上)

①増加した: 0店、②変化なし: 17店、③減少した: 83店、④不明: 90店

(6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)

①増加する: 5店、②変化なし: 43店、③減少する: 79店、④不明: 63店

全国百貨店 売上高速報 2009年04月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	514,422,777	100.0	-11.3 (-11.5)
10都市	331,134,378	64.4	-11.8 (-12.1)
札幌	12,876,640	2.5	-10.1 (-13.2)
仙台	6,771,730	1.3	-15.2
東京	132,012,853	25.7	-11.9
横浜	28,298,727	5.5	-9.3 (-11.2)
名古屋	28,763,871	5.6	-13.8
京都	20,066,094	3.9	-9.9
大阪	63,049,050	12.3	-13.4
神戸	14,177,001	2.8	-7.4
広島	11,882,120	2.3	-8.7
福岡	13,236,292	2.6	-13.9
10都市以外の地区	183,288,399	35.6	-10.3 (-10.5)
北海道	3,429,871	0.7	-11.7
東北	10,141,770	2.0	-12.5
関東	87,952,810	17.1	-10.0
中部	14,285,044	2.8	-11.7
近畿	16,920,064	3.3	-9.5
中国	12,230,354	2.4	-13.3 (-10.4)
四国	9,566,832	1.9	-12.7 (-16.1)
九州	28,761,654	5.6	-7.8 (-9.3)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	514,422,777	100.0	-11.3 (-11.5)
紳士服・洋品	37,143,002	7.2	-15.8 (-15.9)
婦人服・洋品	126,485,895	24.6	-13.6 (-13.9)
子供服・洋品	17,144,924	3.3	-8.7 (-8.8)
その他衣料品	14,607,066	2.8	-12.4 (-12.6)
■ 衣 料 品	195,380,887	38.0	-13.5 (-13.7)
■ 身のまわり品	65,765,032	12.8	-14.1 (-14.3)
化粧品	27,216,701	5.3	-4.8 (-4.9)
美術・宝飾・貴金属	24,040,634	4.7	-20.5 (-20.7)
その他雑貨	23,630,690	4.6	-18.0 (-18.2)
■ 雑 貨	74,888,025	14.6	-14.6 (-14.8)
家 具	7,405,135	1.4	-27.4 (-27.4)
家 電	1,522,294	0.3	-14.2 (-15.2)
その他家庭用品	18,072,189	3.5	-10.6 (-11.0)
■ 家 庭 用 品	26,999,618	5.2	-16.2 (-16.4)
生 鮮 食 品	27,384,969	5.3	-3.3 (-4.0)
菓 子	30,145,838	5.9	-3.9 (-4.2)
惣 菜	27,678,165	5.4	-8.3 (-8.5)
その他食料品	35,064,162	6.8	-3.8 (-4.3)
■ 食 料 品	120,273,134	23.4	-4.8 (-5.2)
食 堂 喫 茶	14,835,046	2.9	-7.2 (-7.5)
サ ー ビ ス	6,190,189	1.2	-1.7 (-2.5)
そ の 他	10,090,846	2.0	15.3 (14.1)
商 品 券	17,884,626	3.5	-14.0 (-14.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | | |
|------------------|--------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -11.8% | (店舗数調整後／14か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -10.3% | (" ／22か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-11.8	-7.7	14か月連続マイナス
札幌	-10.1	-0.2	8か月連続マイナス
仙台	-15.2	-0.2	12か月連続マイナス
東京	-11.9	-3.1	14か月連続マイナス
横浜	-9.3	-0.5	9か月連続マイナス
名古屋	-13.8	-0.8	17か月連続マイナス
京都	-9.9	-0.4	8か月連続マイナス
大阪	-13.4	-1.7	14か月連続マイナス
神戸	-7.4	-0.2	13か月連続マイナス
広島	-8.7	-0.2	14か月連続マイナス
福岡	-13.9	-0.4	9か月連続マイナス
10都市以外の地区	-10.3	-3.6	22か月連続マイナス
北海道	-11.7	-0.1	18か月連続マイナス*
東北	-12.5	-0.3	13か月連続マイナス*
関東	-10.0	-1.7	22か月連続マイナス
中部	-11.7	-0.3	13か月連続マイナス
近畿	-9.5	-0.3	13か月連続マイナス
中国	-13.3	-0.3	11か月連続マイナス*
四国	-12.7	-0.2	22か月連続マイナス
九州	-7.8	-0.4	20か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、2月から3か月連続で全品目がマイナスとなった。しかし、食料品以外はマイナス幅を縮めており、特に衣料品は各品目が、また、化粧品、その他雑貨、家具、生鮮食品、その他食料品も先月より改善した。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-11.3	—	14か月連続マイナス
紳士服・洋品	-15.8	-1.2	13か月連続マイナス
婦人服・洋品	-13.6	-3.4	22か月連続マイナス
子供服・洋品	-8.7	-0.3	8か月連続マイナス
その他衣料品	-12.4	-0.4	14か月連続マイナス
衣料品	-13.5	-5.3	22か月連続マイナス
身のまわり品	-14.1	-1.9	20か月連続マイナス
化粧品	-4.8	-0.2	5か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-20.5	-1.1	26か月連続マイナス*
その他雑貨	-18.0	-0.9	17か月連続マイナス*
雑貨	-14.6	-2.2	14か月連続マイナス
家具	-27.4	-0.5	17か月連続マイナス
家電	-14.2	0.0	16か月連続マイナス
その他家庭用品	-10.6	-0.4	14か月連続マイナス
家庭用品	-16.2	-0.9	17か月連続マイナス
生鮮食品	-3.3	-0.2	3か月連続マイナス*
菓子	-3.9	-0.2	3か月連続マイナス*
惣菜	-8.3	-0.4	11か月連続マイナス*
その他食料品	-3.8	-0.2	3か月連続マイナス*
食料品	-4.8	-1.0	3か月連続マイナス
食堂喫茶	-7.2	-0.2	9か月連続マイナス
サービス	-1.7	0.0	2か月ぶりマイナス
その他	15.3	0.2	8か月連続プラス
商品券	-14.0	-0.5	22か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成21年4月 東京地区百貨店売上高概況

平成21年5月18日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,320億円余
2. 前年同月比	-11.9% (14か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-10.8%(87.6%)：非店頭-19.3%(12.4%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 28店 (平成21年3月対比±0社0店)
5. 総店舗面積	972,052㎡ (前年同月比：-1.7%)
6. 総従業員数	18,611人 (前年同月比：-4.5%)
7. 3か月移動平均値	9-11月 -6.9%、10-12月 -8.9%、11-1月 -9.2%、 12-2月 -10.5%、1-3月 -11.4%、2-4月 -12.2%

[参考] 平成20年4月の売上高増減率は-0.7% (店舗数調整後)

【4月売上の特徴】

- (1) 都内各店で活発な催事展開が行われた結果、入店客数についてはほとんどの店舗で前年並みを維持した。皇室関連催事、下取りセール、外国展などを開催した店舗では連日大盛況であった。
- (2) 低迷の続くファッション分野では、衣料品が依然厳しい状況にある反面、服飾雑貨については比較的堅調さを取り戻しつつある。
- (3) 晴天続きの天候要因によるUV対策と母の日を目前に控えたギフト需要が重なり、スカーフやストールが例年以上に好調であった。
- (4) ブライダル需要の高まりから婦人アクセサリに動きが見られ、前年実績をクリアする店舗も出ている。
- (5) 東京地区でも、売上減少幅は3月(-12.9%)と比較して1ポイント改善した。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比-0.5日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した：4店、②変化なし：5店、③減少した：11店、④不明：3店
- (3) 3月歳時記 (春物商戦、花まつり、昭和の日) の売上 (同上)
 - ①増加した：0店、②変化なし：3店、③減少した：7店、④不明：13店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する：0店、②変化なし：10店、③減少する：10店、④不明：3店

東京地区百貨店 売上高速報 2009年04月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	132,012,853	100.0	-11.9
紳士服・洋品	10,607,108	8.0	-15.9
婦人服・洋品	30,586,219	23.2	-15.1
子供服・洋品	3,011,147	2.3	-9.0
その他衣料品	3,199,157	2.4	-13.1
■ 衣 料 品	47,403,631	35.9	-14.8
■ 身のまわり品	19,249,885	14.6	-12.0
化粧品	6,950,222	5.3	-7.4
美術・宝飾・貴金属	6,727,170	5.1	-23.8
その他雑貨	7,442,088	5.6	-20.5
■ 雑 貨	21,119,480	16.0	-17.8
家 具	2,276,404	1.7	-28.4
家 電	601,514	0.5	-8.5
その他家庭用品	4,868,453	3.7	-16.1
■ 家 庭 用 品	7,746,371	5.9	-19.7
生 鮮 食 品	4,416,728	3.3	-2.3
菓 子	7,186,131	5.4	-2.0
惣 菜	6,169,635	4.7	-9.1
その他食料品	9,042,649	6.8	-9.8
■ 食 料 品	26,815,143	20.3	-6.5
食 堂 喫 茶	3,538,945	2.7	-6.6
サ ー ビ ス	2,324,132	1.8	3.5
そ の 他	3,815,266	2.9	61.7

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率 (%)
商 品 券	2,995,650 千円	-24.1
従 業 員 数	18,611 人	-4.5
店 舗 面 積	972,052 m ²	-1.7

営 業 日 数	30.0 日	前 年	29.5 日
---------	--------	-----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、全品目がマイナスとなった。衣料品と身のまわり品は先月より改善しており、紳士服・洋品、婦人服・洋品、子供服・洋品、その他衣料品、化粧品、生鮮食品、菓子、惣菜も同様の動きとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-11.9	—	14か月連続マイナス
紳士服・洋品	-15.9	-1.3	13か月連続マイナス
婦人服・洋品	-15.1	-3.6	9か月連続マイナス
子供服・洋品	-9.0	-0.2	8か月連続マイナス
その他衣料品	-13.1	-0.3	12か月連続マイナス
衣料品	-14.8	-5.5	9か月連続マイナス
身のまわり品	-12.0	-1.8	13か月連続マイナス
化粧品	-7.4	-0.4	5か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-23.8	-1.4	8か月連続マイナス*
その他雑貨	-20.5	-1.3	11か月連続マイナス*
雑貨	-17.8	-3.1	12か月連続マイナス
家具	-28.4	-0.6	13か月連続マイナス
家電	-8.5	0.0	16か月連続マイナス
その他家庭用品	-16.1	-0.6	11か月連続マイナス
家庭用品	-19.7	-1.3	11か月連続マイナス
生鮮食品	-2.3	-0.1	8か月連続マイナス*
菓子	-2.0	-0.1	3か月連続マイナス*
惣菜	-9.1	-0.4	13か月連続マイナス*
その他食料品	-9.8	-0.7	3か月連続マイナス*
食料品	-6.5	-1.2	7か月連続マイナス
食堂喫茶	-6.6	-0.2	6か月連続マイナス
サービス	3.5	0.1	6か月連続プラス
その他	61.7	1.0	8か月連続プラス
商品券	-24.1	-0.6	14か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田・佐藤まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>